

2020年度の前半と後半の LMS 利用状況の比較

東京大学 情報基盤センター
柴山 悦哉, 関谷 貴之

東京大学の教育情報

- 学部学生: 14,000人程度
 - **前期課程1年生約3,100人**
- 大学院生: 13,000人程度
- 教職員: 10,000人以上
- 教育組織: 10学部, 15研究科等
- 科目数: 年間約2万程度か (**前期課程が開講するLMS上のコースは約3,200**)
- S(前期)とA(後期)のセメスター制



東京大学ウェブサイトより

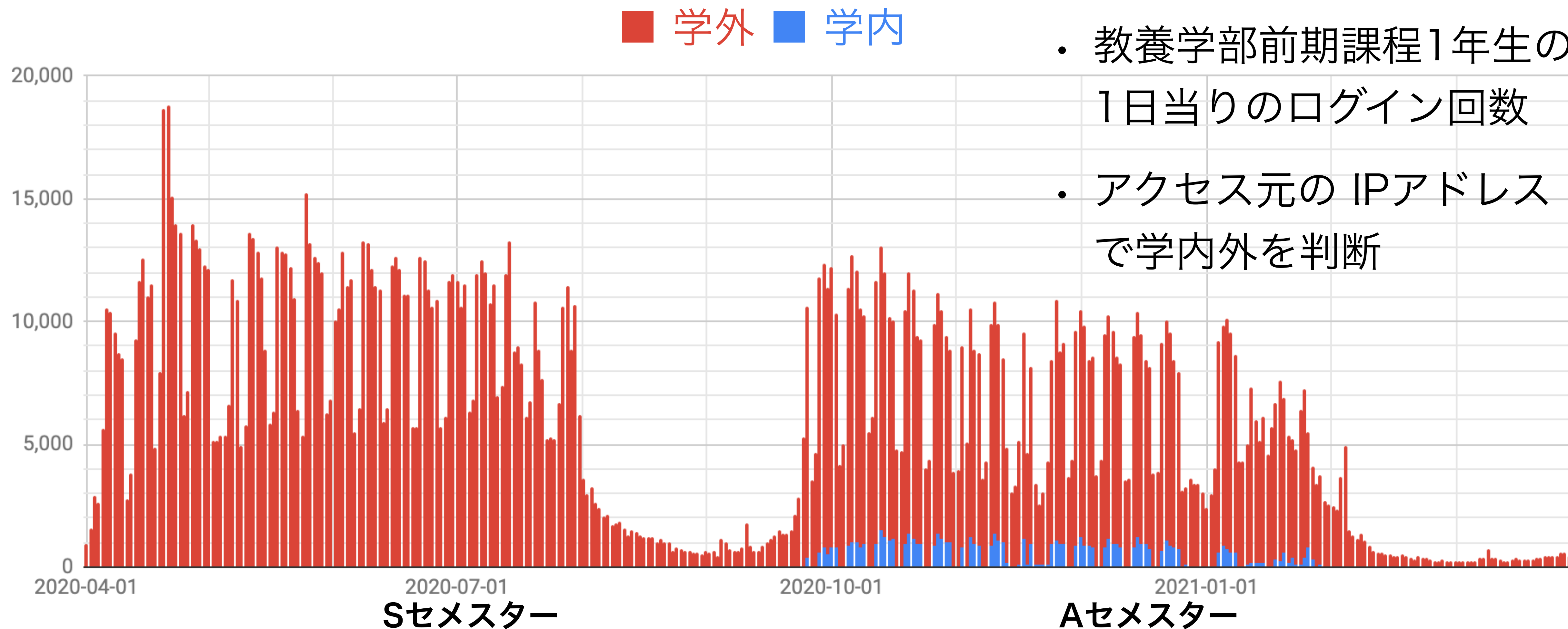
情報基盤センター 情報メディア教育研究部門 のサービス

- 教育用計算機システム (ECCS)
- 学習管理システム ITC-LMS
- メール / Web / DNS ホスティング

前期課程の利用が多い傾向



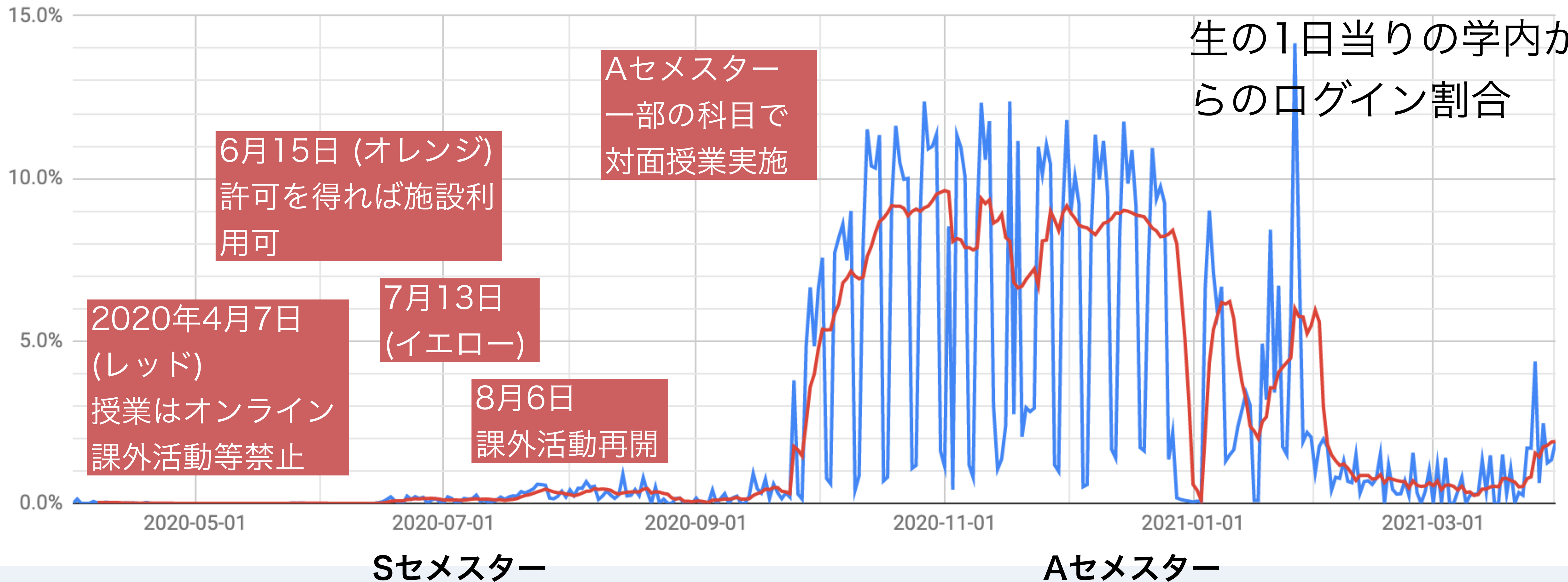
1日当たりのログイン回数



1日当たりの学内からのログイン割合

■ 学内7日間移動平均割合 ■ 学内割合

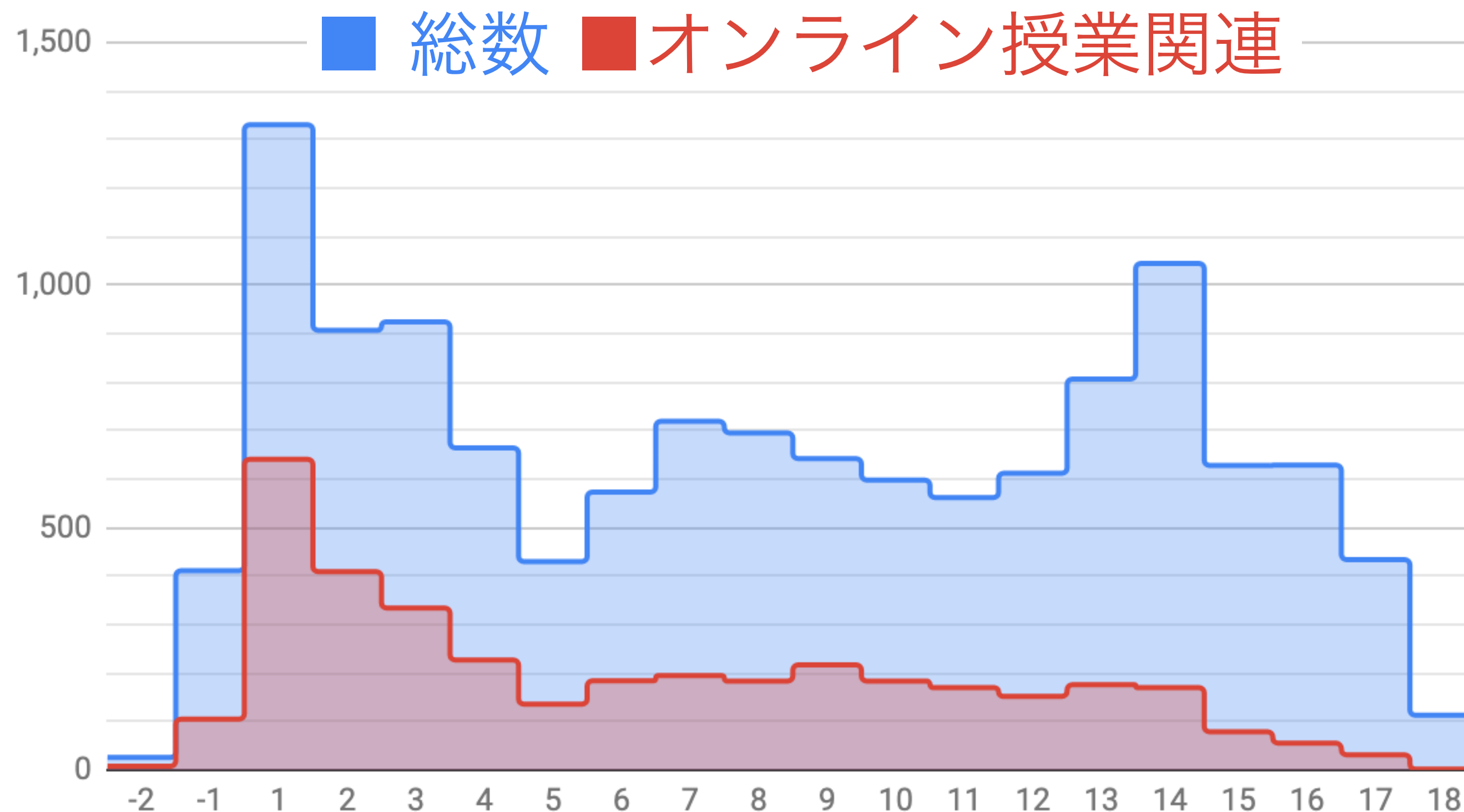
・ 教養学部前期課程1年生の1日当たりの学内からのログイン割合



オンライン授業のURL

- オンライン授業のアクセス先 (Zoom / Webex 等の URL)を学生に伝えないと
 - 伝達方法が授業ごとにバラバラでは、学生が混乱する
- 学期開始時、学生は必ず学務システムを利用する
 - シラバスを読む / 履修登録をする / 各種お知らせを読む...
- 2020年度開始前に学務システム(UTAS)上のシラバスに、オンライン授業情報を入力する個所を設け、学生に参照させることとした

お知らせの数 (2020年度Sセメスター)



- 教養学部前期課程が開講するコースのお知らせ数(週毎)
- Sセメスター(前期)のコース数は約1,780個
- 「オンライン授業関連」はZoom, Webex, Google meet いずれかの URL を含む

LMS でオンライン授業の情報を伝えるコースも少なくなかった

授業期間中は LMS をよく用いるのでは

オンライン授業情報の追加



教員向け画面

授業期間中に利用する LMS に
オンライン授業の情報を集約する



学生向け画面

授業URLの連絡方法（教員向け）

目次

[原則：ITC-LMSの「オンライン授業情報」欄](#)

補足

[UTASの利用について](#)

[「東京大学オンライン講義検索システム \(UTAS\)](#)

[授業URLの変更について](#)

[関連ページ](#)

教員から学生にオンライン授業のURL（Zoomなどの会議室のURL）を連絡する際は、ITC-LMSの「オンライン授業情報」欄を利用するのが原則です

[学生向けはこちら](#)

原則：ITC-LMSの「オンライン授業情報」欄

教員から学生にオンライン授業のURL（Zoomなどの会議室のURL）を連絡する際は、**ITC-LMSの「オンライン授業情報」欄**を利用するのが原則です。

- [ある授業の例](#)

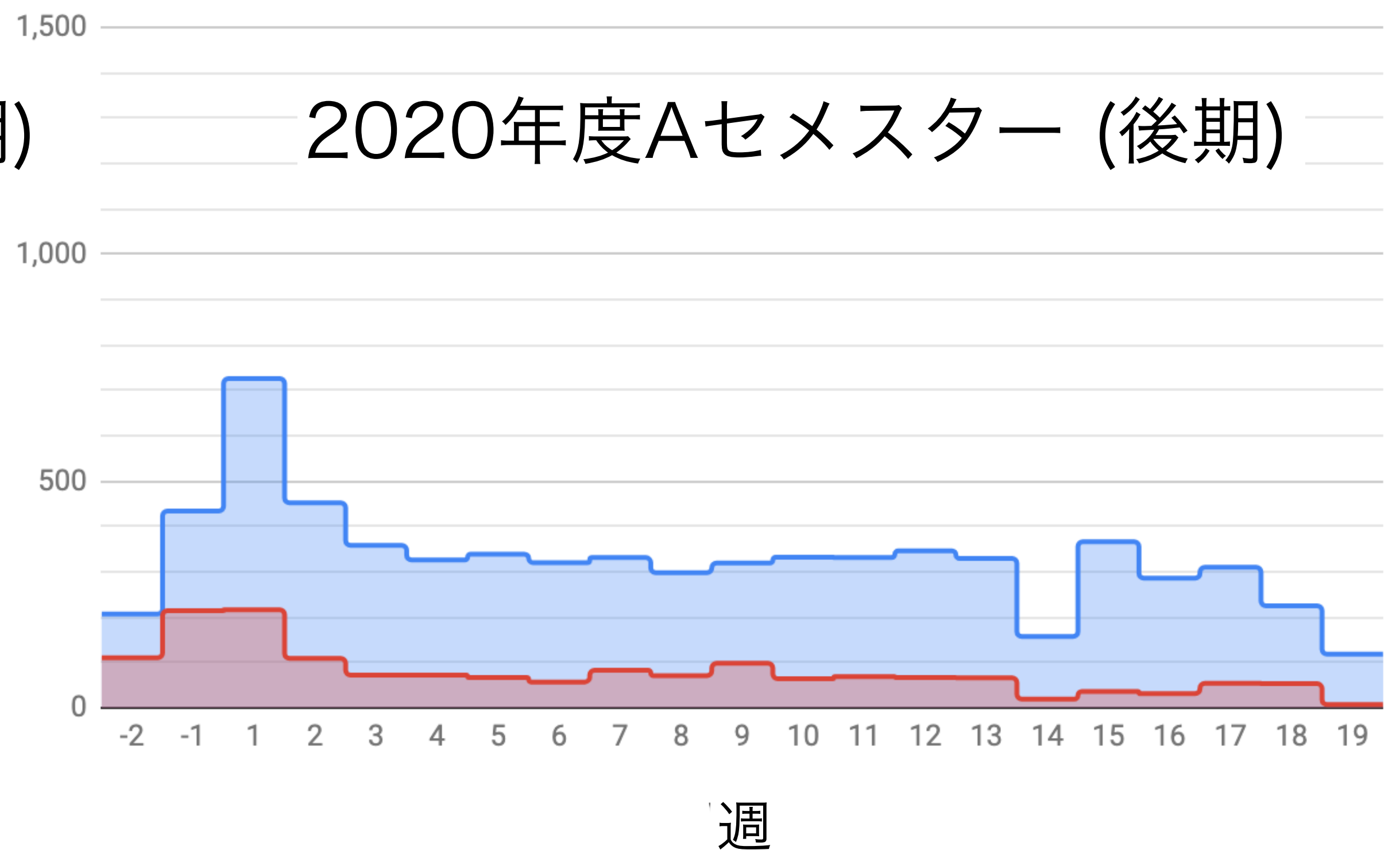
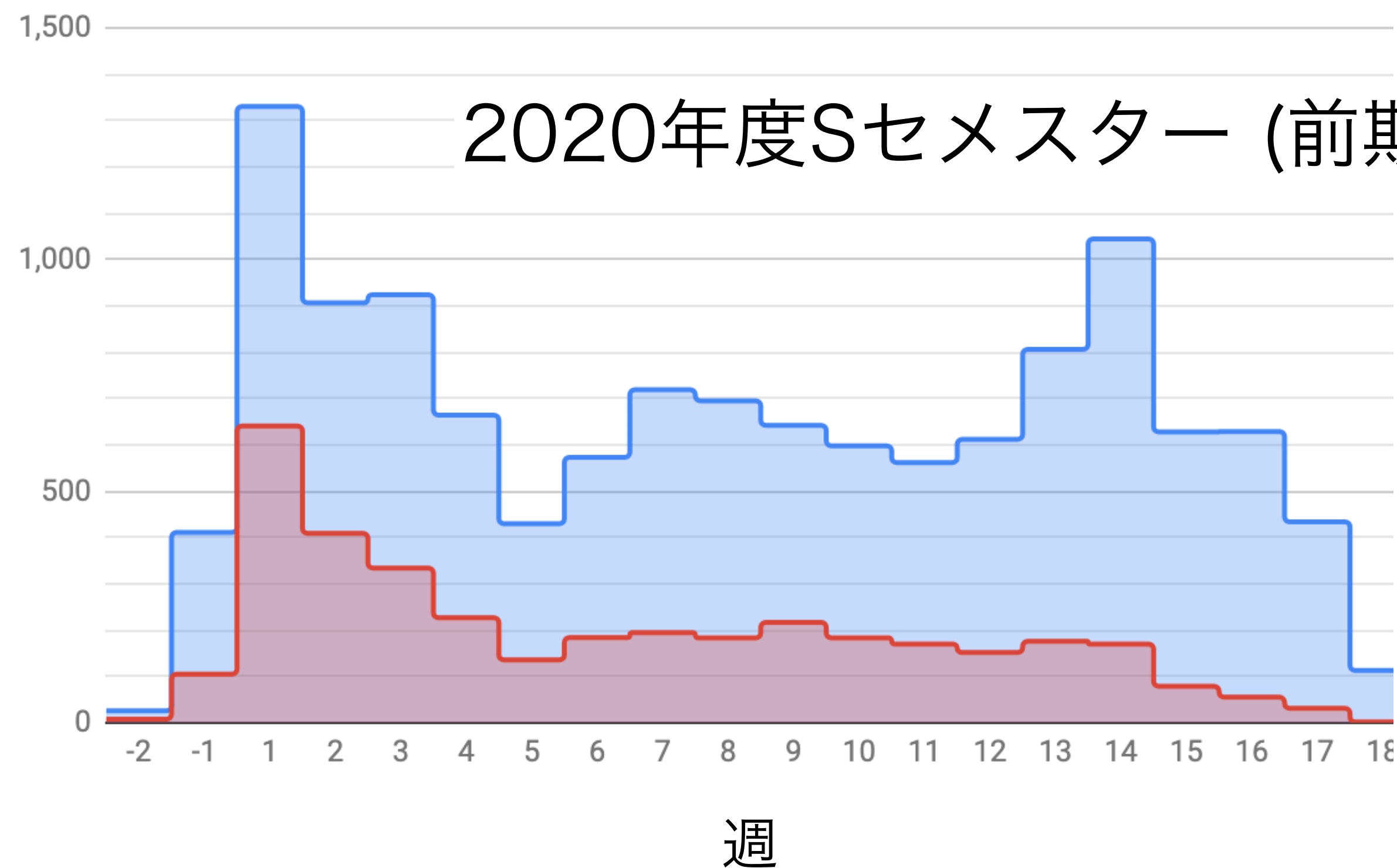
オンライン授業情報の利用

	総コース数	オンライン授業情報 登録コース数	利用率 (%)
2020年度 Sセメスター	1,775	-	-
2020年度 Aセメスター	1,456	846	58.1
2021年度 Sセメスター	1,595	965	60.5

- ・ 教養学部前期課程で開講するコースでのオンライン授業情報の利用状況

お知らせの数 (2020年度S/A)

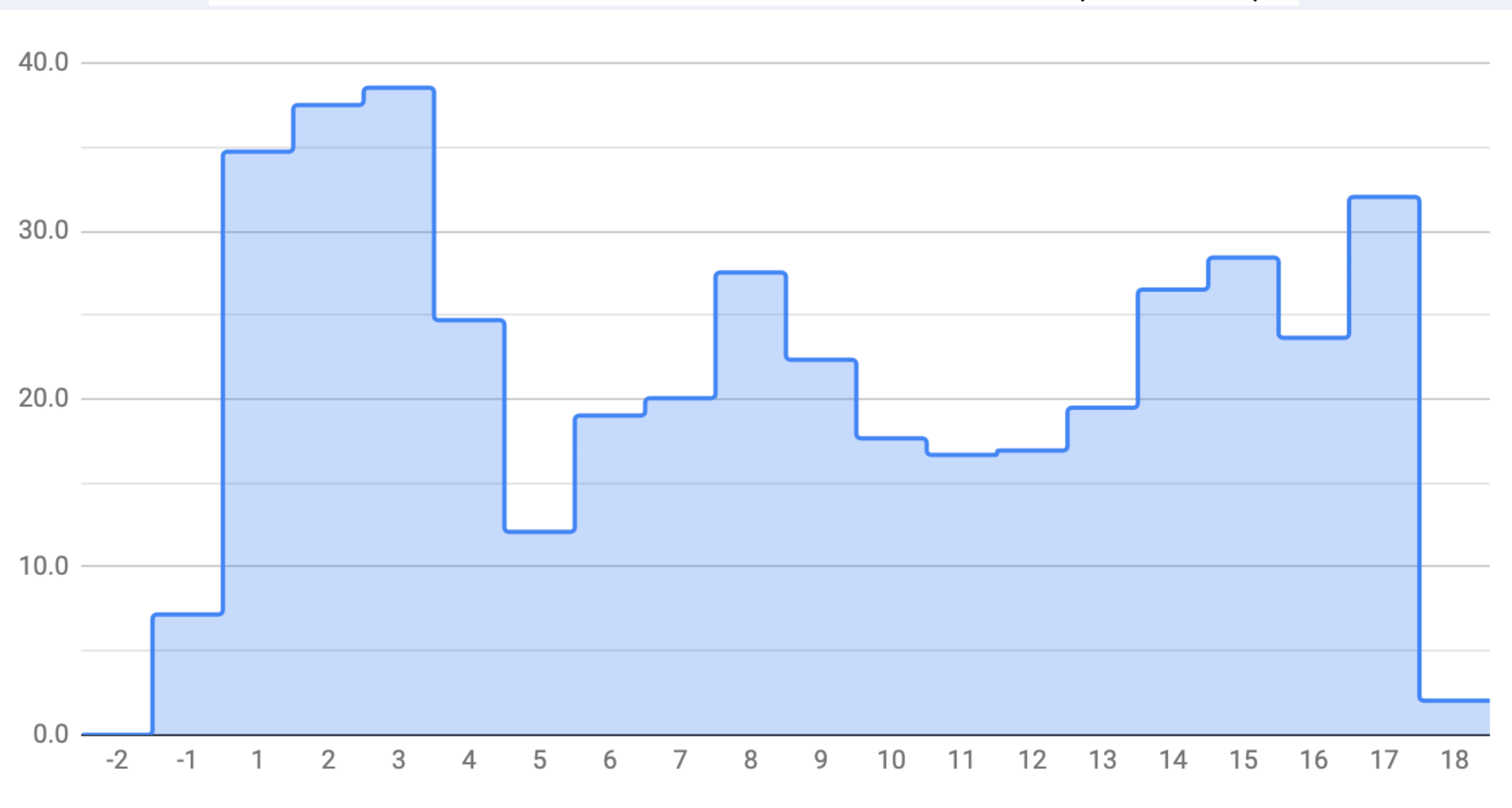
■ 総数 ■ オンライン授業関連



Aセメスター(右) では、Sセメスター(左)と
比較して、お知らせの量が減少

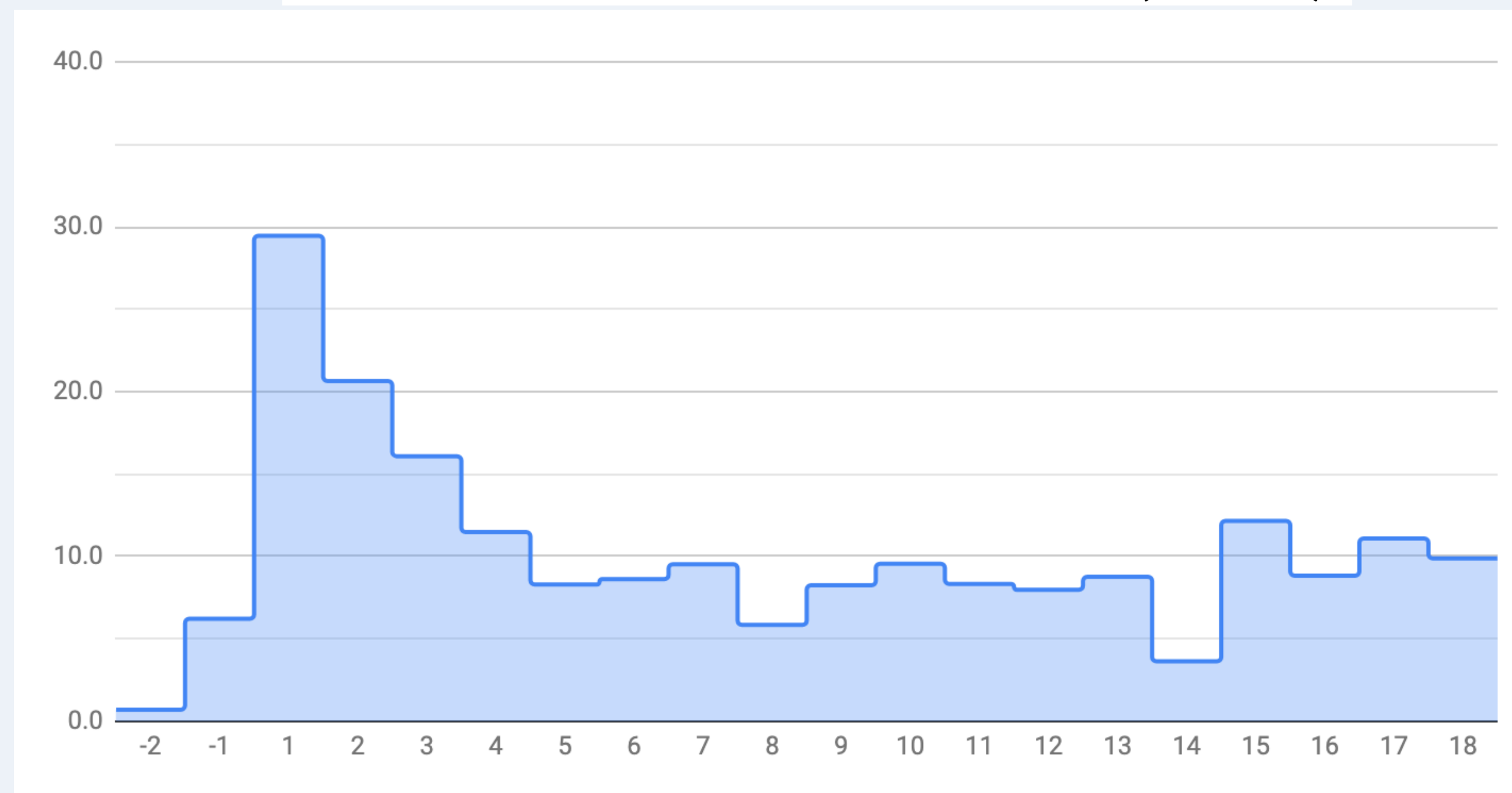
お知らせの参照数 (2020年度S/A)

2020年度Sセメスター (前期)



週

2020年度Aセメスター (後期)



週

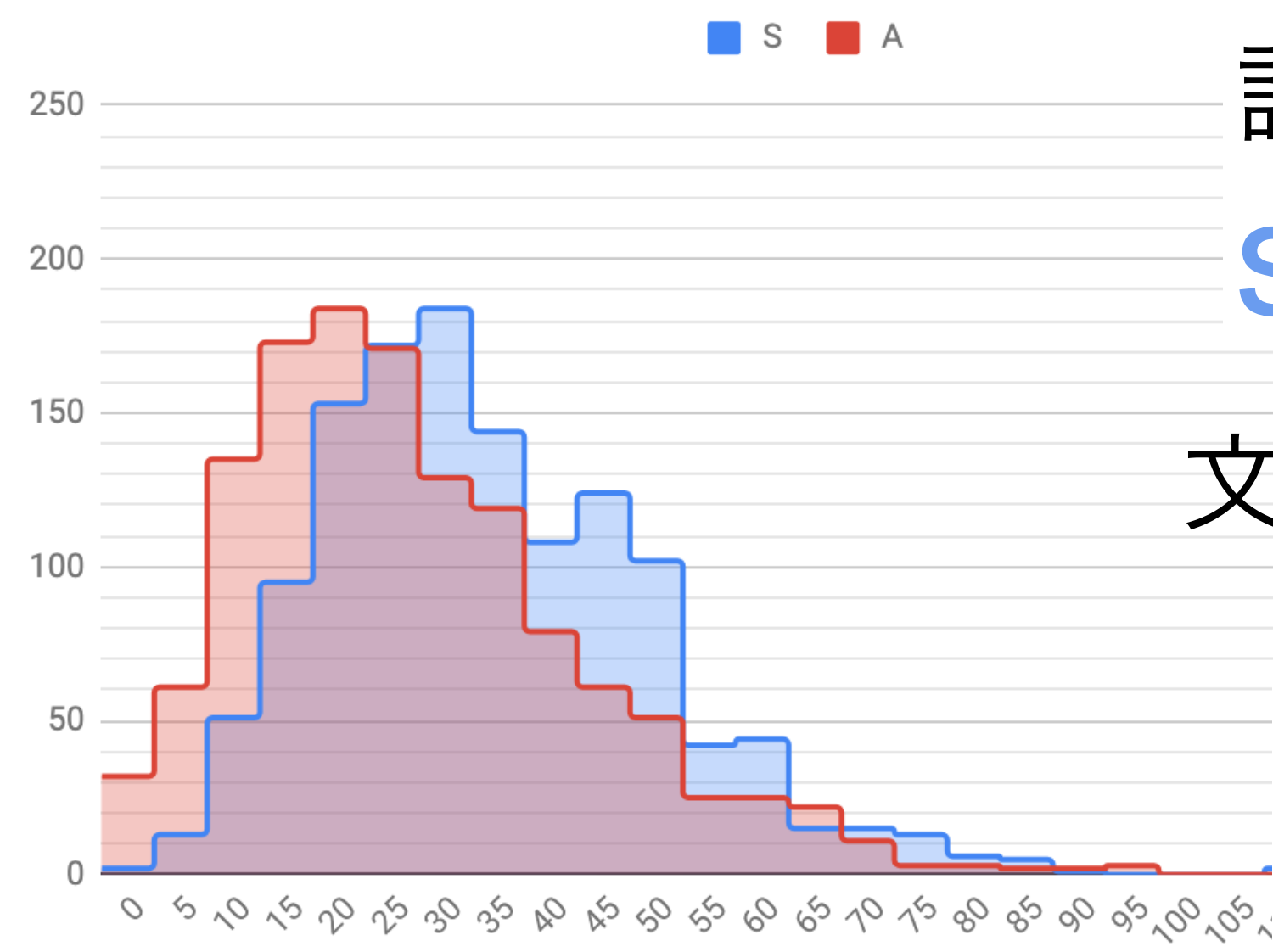
お知らせ参照数も減ったか... SセメスターとAセメスターの違いもあるが...

学生の負担に対する懸念

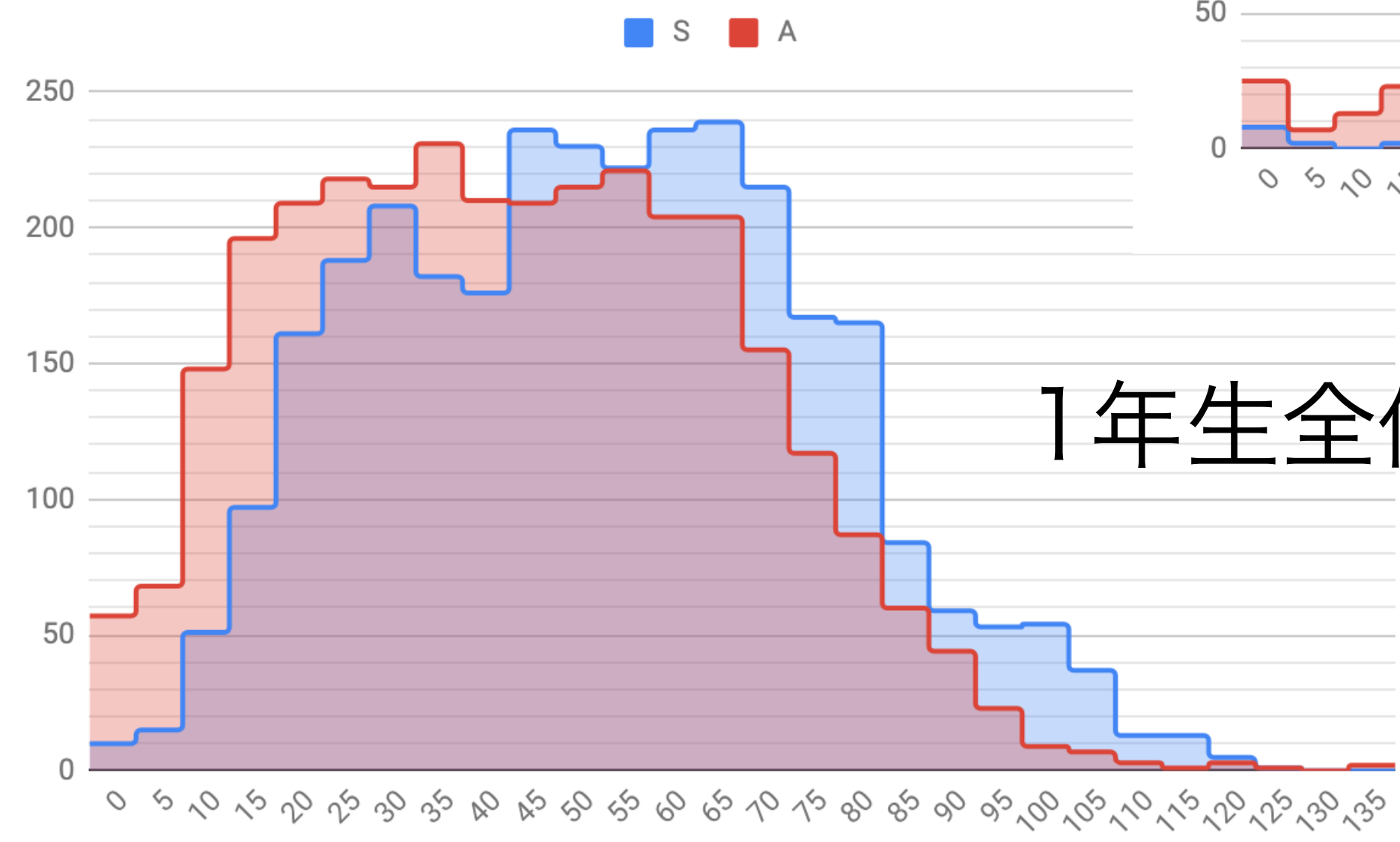
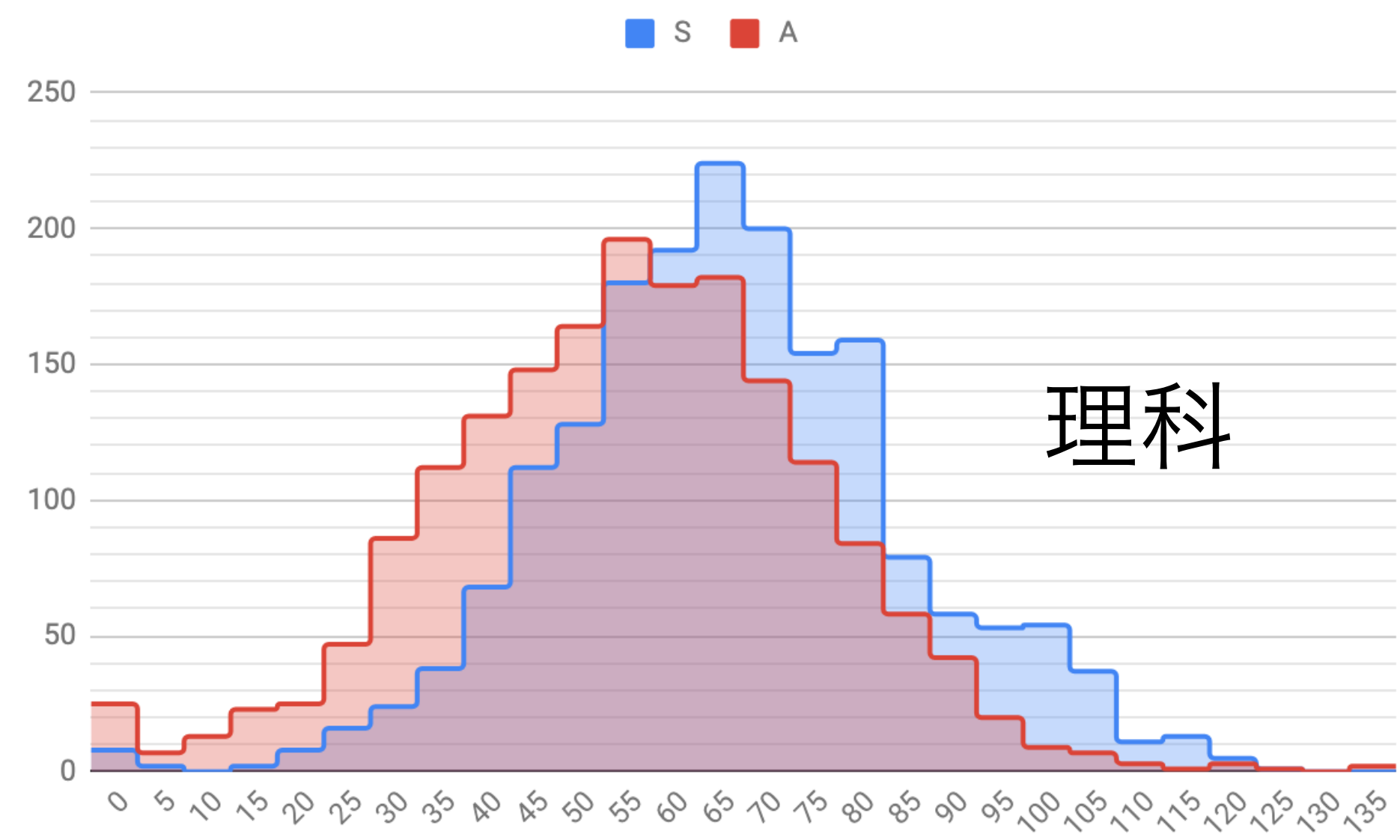
- 「しかし、四本先生は、東大の取組みを成功と呼ぶのは時期尚早だと釘を刺し、新たな課題が次々と浮上していると付け加えました。現在、オンライン授業でもフェアな成績評価をしようと**教員が学生に過大な課題を課してしまう**傾向があることや、数ヶ月にわたる遠隔学習によって学生が感じるストレスが、大きな懸念となっているのです。」

UTokyoオンライン授業の現在 | コロナ禍と東大。(掲載日：2020年9月29日), https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/features/z1304_00084.html (2021年4月20日アクセス)

2020年度学部1年生の課題取組状況1

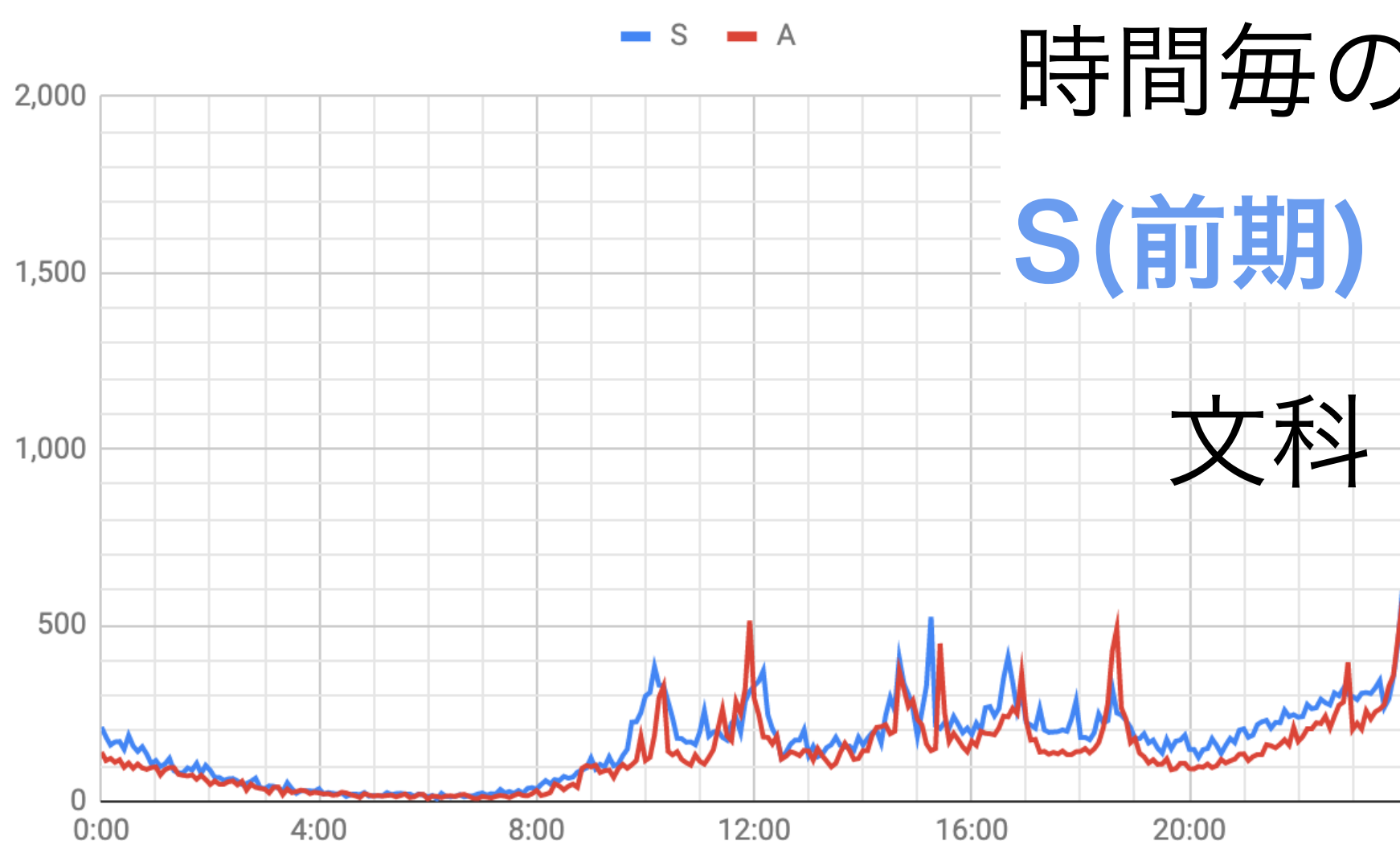


課題提出数のヒストグラム
S(前期) / A(後期)



やや課題提出数は減った

2020年度学部1年生の課題取組状況2



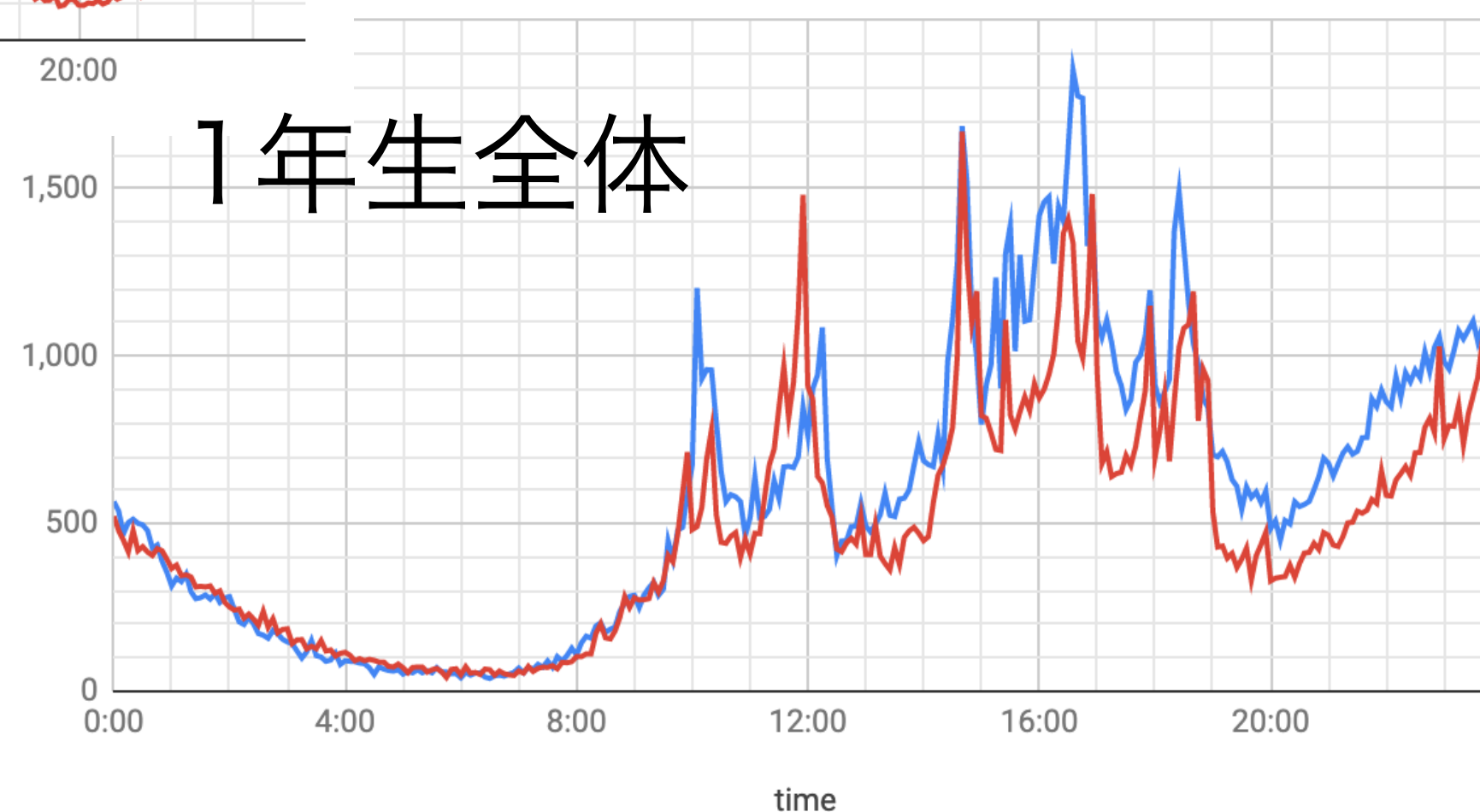
時間毎の課題提出数(5分単位)

S(前期) / A(後期)

文科



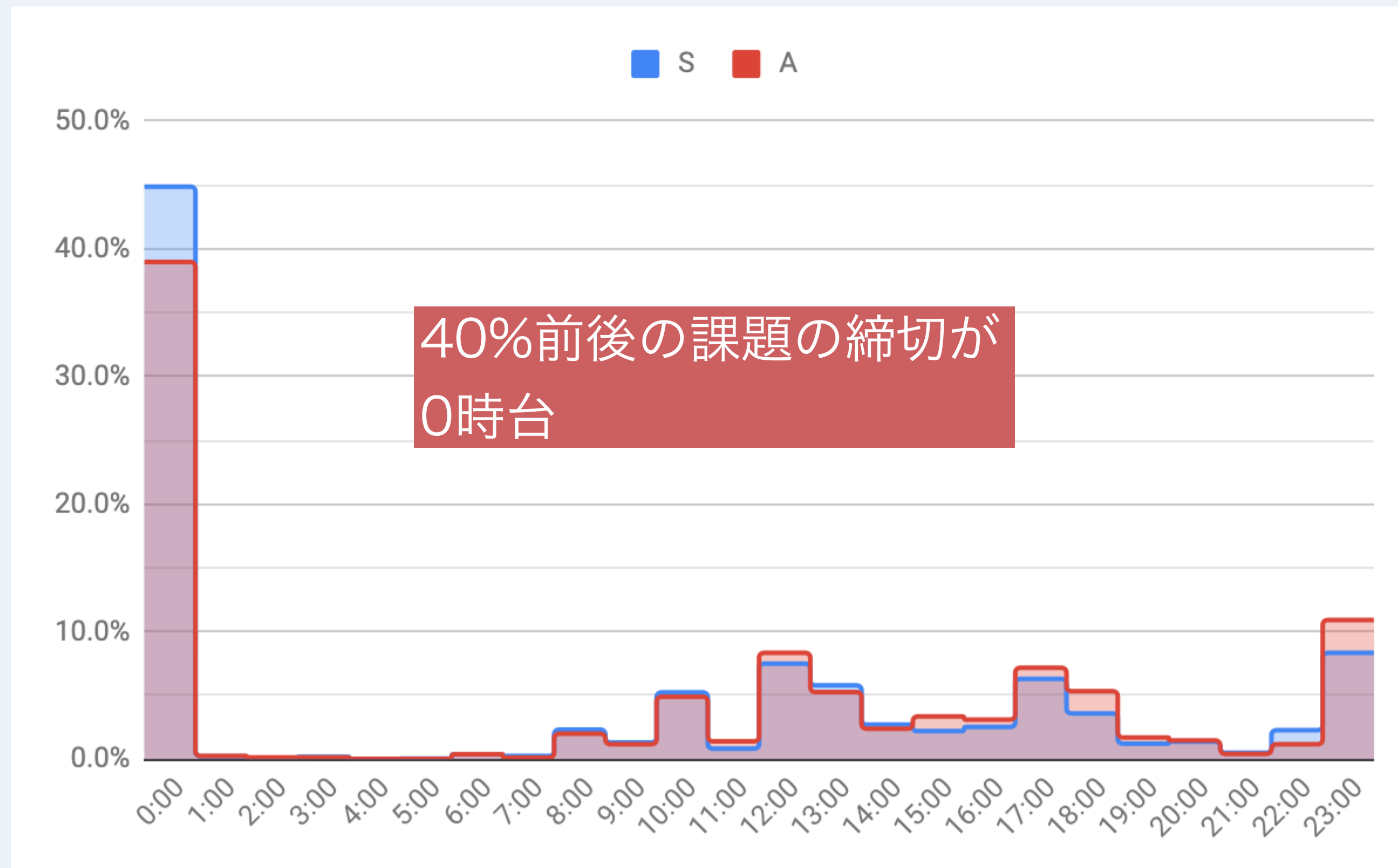
理科



1年生全体

0時前その他、2限3限終了前の
提出が多い

課題の出題状況



- 日中を締切とした小テスト，小レポートを課す授業もある (数学，構造化学，統計学等)が...
- 締切時刻の調整も検討した方が良いか？

授業評価アンケート

- 教養学部前期課程に協力して，授業評価アンケート用に LMS を一部カスタマイズ
 - テンプレートによる複数コースへのアンケートの作成
 - 匿名化... 等々

アンケートの回答状況1

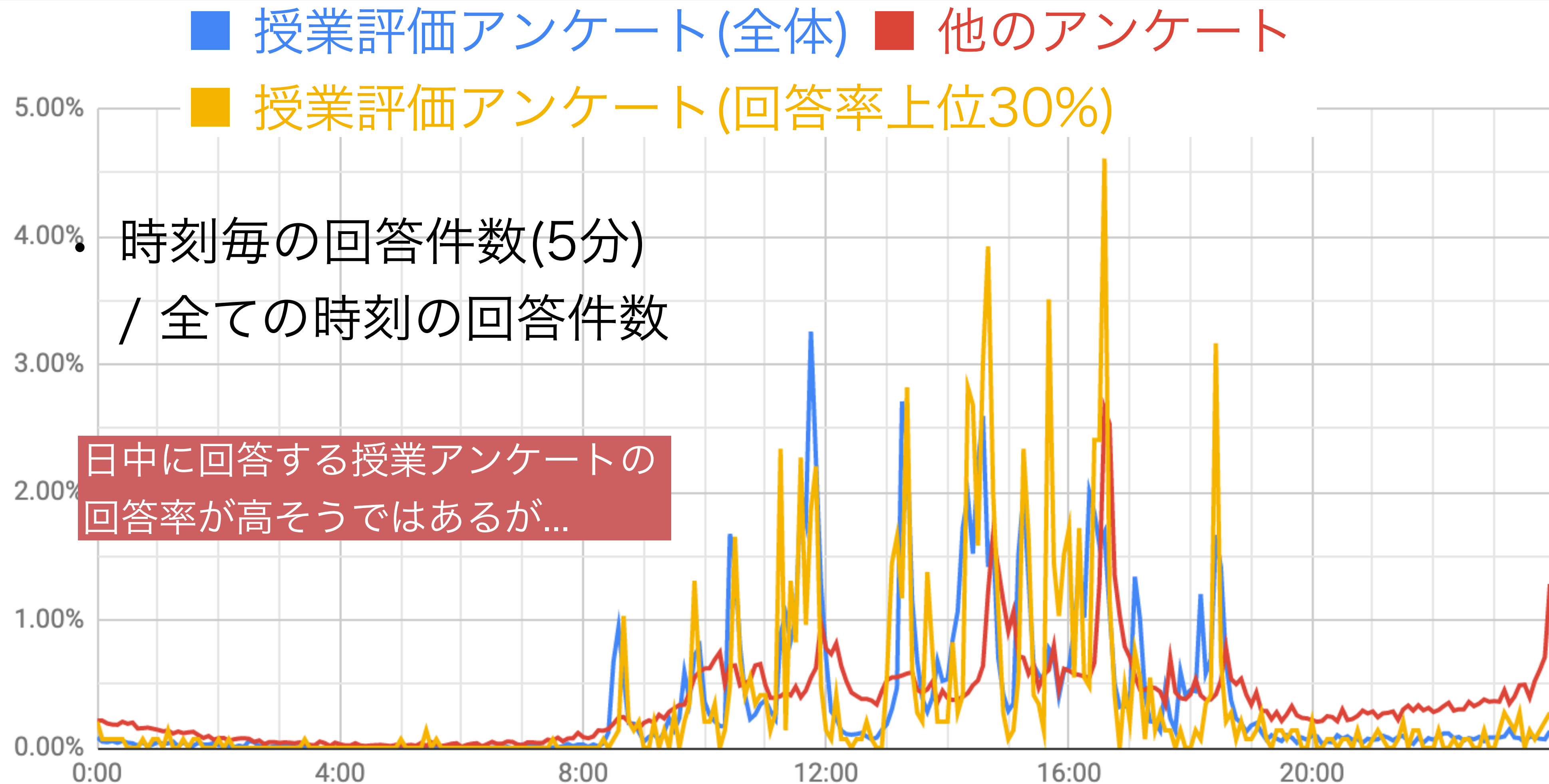
	アンケート数	回答率 (%)
一般のアンケート	2,887	42.3
授業評価アンケート	1,681	26.8

一般のアンケートより低い?? (集計ミスか?)

- 授業評価アンケート(全体)
- 他のアンケート
- 授業評価アンケート(回答率上位30%)



アンケートの回答状況2



まとめ

- 2020年度の LMS 上のデータを，前期(Sセメスター)と後期(Aセメスター)との違いに主に注目して分析
- 少ないながらも学生がキャンパスに戻ってきたことが分かった
- 「オンライン授業情報」機能の周知の努力がまだ必要
- 学生の課題の提出件数は減った
- 授業評価アンケートの回答状況については要確認